

河村式作文プリント

寄せられた困難事例へのアドバイス紹介

「感想文を書こうにも、本の内容を忘れている」

Q：毎週図書館の時間で紙芝居や絵本の読み聞かせをしているので、その時のお話を題材に感想文を書かせたいのですが、次の時間になると内容は全て忘れてしまっています。どのように導入すれば？と思っています。

A：感想文プログラムを初めて使うときは「桃太郎」「赤ずきん」など、既に内容を暗記しているお話からスタートすることをお勧めします。内容を思い出しながら新たな文型で文章を書くとなると、同時に二つのことを要求することになり、負担過多かもしれません。その上で、複数回読んでいるお話、例えば音読を宿題に出している教科書のお話等を題材にしてみましょう。

次に考えるべきは文章内容に関する口頭での質問応答が成立するかどうかです。ごく短い絵本を読み聞かせ、「誰が出てきた？」等と質問しても、絵だけを見ているので案外言葉にならないことがあります。このような場合、ページごと、文ごとに「この人の名前、なんだったけ？」「旅に出たのはいつだったけ？」というように内容を口頭で細かく質問していきましょう。

（「物語の連続性を分断するとはなにごとだ！」と文学系の方からは怒られそうな指導ではありますが、何も把握できていないよりは良いでしょう。）

これを反復するとぼんやりと聞くのではなく、きちんと言葉を把握してないように関する質問に回答できるようになっていきます。

その上で、質問応答の内容を書き出す等の活動を挟み、感想文プログラムの内容に移行してみてください。

※ただし、教師が質問することが「つるし上げ」のようになってしまうと本も作文も大嫌いになってしまいます。空き箱で早押しクイズのスイッチでも作って、ゲームっぽい雰囲気で行っていきましょう。